

2024.02.07(水) 生徒の気持ち胸に熱く
 ～県立中央病院 杜陵高に感謝状贈る【盛岡タイムス】

生徒の気持ち胸に熱く

県立中央病院(宮田副院長)は6日、杜陵高本校三田正巨校長、定時制95人、通信制169人に感謝状を贈った。同校ボランティア同好会(山田ありさ部長、部員3人)の齊藤凛さん(1年)と中島絢香さん(同)、三田校長らが同院を訪れ、宮田院長から感謝状を受け取った。

県立中央病院

杜陵高に感謝状贈る

美化活動や癒やしの明かりで



中央病院北側の道路の落ち葉を掃く山田部長(2023年11月13日撮影)

同校は昨年、同院周りに散乱していた落ち葉を掃いたり、同院敷地内にある木にイルミネーションを設置したりなどの活動を行っていた。

宮田院長は「病院の職員や患者に対する温かい気持ちは大変うれしく思うし、私たちの胸も熱くなった。皆さんの貢献が、われわれ職員や入院している人に伝わってきた。感謝

の気持ちとして行ってくれたのかもしれないが、こちらとしても感謝の気持ちを伝えたい」と力を込めた。齊藤さんは「自分のちよつとした思いやりで、賞まで受け取ることにできて、改めて周りの人の役に立っているのだと感じることができた。これからも続けていきたい」と思いを語った。中島さんは「今回の

ボランティアを通して地域の人の役に立つことができたので良かった」と笑みを浮かべた。落ち葉掃きは11月に、山田部長が通学路のバス停、同校正門などに散乱していた落ち葉をほうきで掃いていた。同院北側の道路や近くのイルミネーションの設置は12月に、同部や校のシンボルである木に、LED約4千個が取り付けられ、灯は16日まで行われ、生徒有志が同院の入院患者や医療従事者の癒やしなれた。病院の窓からも見える。



宮田院長から感謝状を受け取る齊藤さんと中島さん(右から)



イルミネーションを設置した杜陵高の生徒たち(2023年12月14日撮影)